

令和6年度の赤潮発生概況

令和6年度の広島県海域における赤潮発生件数は、県西部海域で1件、県東部海域で3件、合計4件（前年7件）であり、のべ発生日数は352日（前年341日）であった。

なお、漁業被害は発生していない。

【有害種の出現状況】

○シャットネラ属

6月上旬から9月上旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高密度950細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

○カレニア・ミキモトイ

6月下旬から9月下旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高密度は2,700細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

6月上旬から9月上旬にかけて県西部海域で出現を確認し、最高密度2,458細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

【その他の種の出現状況】

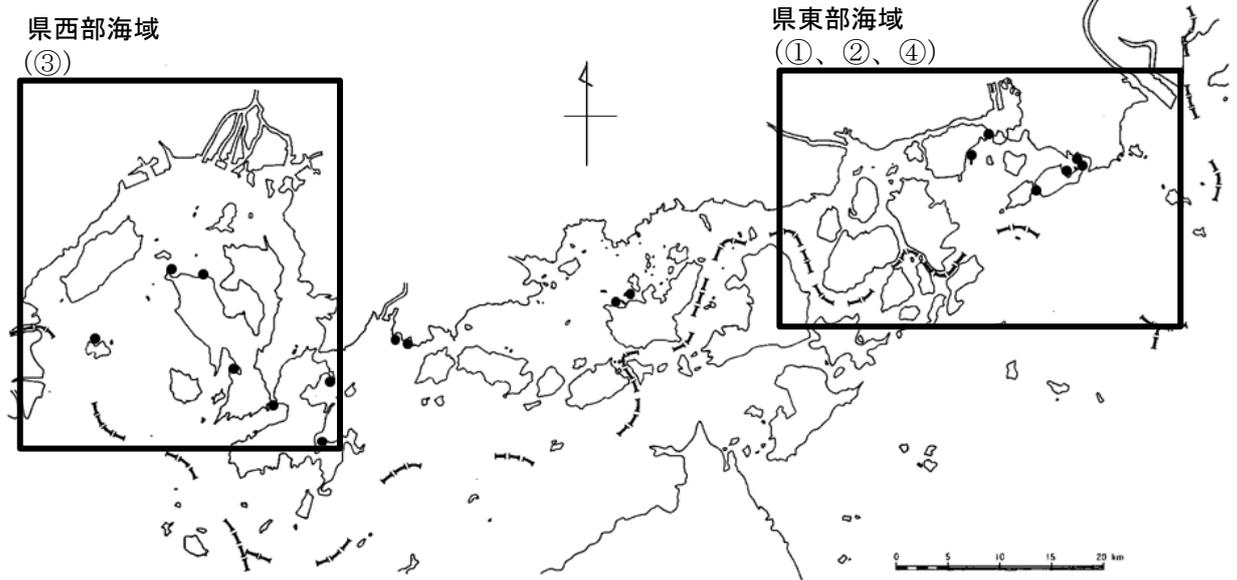
○ノクチルカ属

令和7年3月下旬から6月中旬にかけて県東部海域で出現を確認し、最高細胞密度126細胞/mlに増殖したが、漁業被害はなかった。

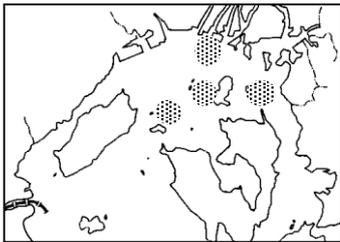
※その他の種

赤潮注意報及び警報の対象ではないが、情報収集・伝達の対象となっている種。

令和6年度赤潮発生海域図

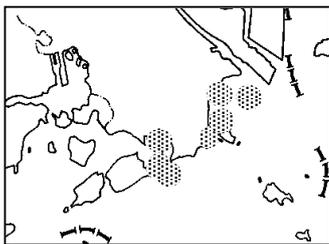


県西部海域

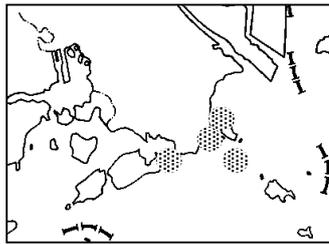


③ 8/1～10/16 カニア・ミキトイ

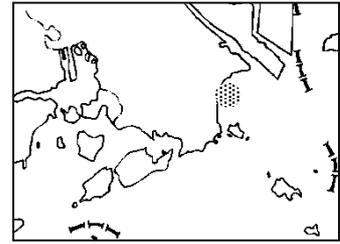
県東部海域



① 6/25～10/15 シャットリ属



② 7/25～10/15 カニア・ミキトイ



④ R7 3/25～6/11 ノケルカ属

